

謹んで新年のご挨拶を申し上げます

皆様方には、希望に満ちた初春を健やかに迎えのことに、心よりお慶び申し上げます。平素より、市原野自治連合会の活動に対し、温かいご支援と多大なるご協力を賜り厚く御礼申し上げます。



昨年は、市原野小学校が創立 150 周年を迎えるという記念すべき年でした。11 月には記念式典や子どもたちの笑顔あふれる記念フェスタが開催され、地域の皆様とともに盛大に記念すべき節目を祝い、子どもたちの成長を願う素晴らしい機会となりました。

また、令和 4 年の静原小学校との統合、そして昨年 4 月の鞍馬小学校との統合に向けて推進活動を共に経験したことで、静原・鞍馬・市原野の 3 学区の連携はより一層深まりました。子どもたちの通学範囲が広がる中でも、地域全体で未来を担う子どもたちを見守る体制が築かれていく喜びを感じています。

一方で、町内会・自治会への加入世帯が減少している現状は、私たちが向き合うべき大きな課題です。高齢化だけでなく、共働き世帯や単身世帯の増加、ライフスタイルの多様化により、若年層の地域での交流機会が減少していることが背景にあります。これにより、ご近所同士のつながりが希薄化し、災害時などの「共助」機能の低下が懸念されます。

しかし、私たちは「地域の絆」を再確認し、この課題を乗り越え、明るい未来を築いていきたいと考えます。「住めば誰でもまちの一員」です。市原野にお住いの皆様一人ひとりの力が、住みよい安心安全なまちづくりには不可欠です。

私たちは、いざという時に助け合える「人とのつながり」を大切にし、誰もが「できること」を「できる範囲」で、楽しみながら活動に参加できるような地域づくりを目指したいと思います。

一昨年から取り組んできました『いちのいち』（自治会向け SNS）に代わる市原野の情報発信ツールとして、年始から Web サイト（ホームページ）を公開しました。是非、ご閲覧ください。【本紙：裏面参照】

本年も、地域の絆を育むために、皆様の積極的なご参加とご協力をお願い申し上げますとともに皆様のご健勝とご多幸、そして地域の各種団体のさらなるご発展を心からお祈りし、年頭のご挨拶とさせていただきます。



自治連本部・自治連特別委員会の近況と活動予定

● 自治連本部

● 「市原野小学校・鞍馬小学校」統合式 新たな市原野小学校「KIS」が誕生

4月8日(火)市原野小学校で鞍馬小学校との統合式が行われました。松井京都市長をはじめ西村京都市会議長、森元左京区長など多くの来賓や行政・市会、学校関係者の臨席のもと、新入生を除く2年生から6年生までの在校生に見守られながら式が挙行されました。

3年前には静原小学校と統合し、今回の鞍馬小学校との統合で市原野・静原・鞍馬の3地域からなる新たな市原野小学校「KIS」が誕生しました。

今後も、これまで以上に3地域が共に手を携え、子どもたちの教育環境づくりに向けて、地域を挙げて協力していきたいと思えます。



● 市原野小学校創立 150 周年記念式典思い出に残る「150 周年記念フェスタ」

11月15日(土)市原野小学校で「市原野小学校創立150周年記念式典」が行われ、在校生全員と保護者が参列し、稲田京都市教育長をはじめ来賓の方々、学校運営協議会委員のみなさん、地域の団体長のみなさん、歴代のPTA会長や校長先生が招待されました。

午後は快晴のもと、市原野小学校150周年記念実行委員会主催の「150周年記念フェスタ」が行われ、150周年という素晴らしい日を在校生や保護者、たくさんの地域の方や卒業生が小学校に集まり、みんなで祝いました。



会場では、キッチンカーには長蛇の列ができ、各食べ物ブースも盛況でした。市原野小PTAや児童館のブースはたくさんの子どもたちの元気な姿と笑顔が溢れていました。

● 令和7年度洛北自治会連絡協議会総会

11月20日(金)「アイネスヴィラノツツエ宝ヶ池」を会場に開催されました。当日は、森元左京区長・船木副区長を来賓に迎え、鞍馬・静原・花脊・別所・久多・広河原・雲ヶ畑の

各自治振興会、大原・八瀬・岩倉北・岩倉南・岩倉明德・市原野の各自治連合会、計13学区の代表が各地域の現状・課題を報告し、行政に対する各学区要望や洛北地域全体に係る課題やなどについて意見を交わしました。

今年度の洛北自治会連絡協議会に提出した学区要望（市原野）は以下の3つです。

- 要望 1：東北部クリーンセンターの大規模災害時の活用
- 要望 2：鞍馬川支流および長代川の護岸整備、土砂上げ、大雨時の流木等の防災対策
- 要望 3：新規開発地域および自治会未加入地区の自治会加入促進の支援



● 自主防災会

はじめの一步 地域力は防災力

いちばん大事なこと「生きること・助けあうこと」

●自主防災会とは・・・

もしもの時に備え、地域住民が連帯し協力することによって、災害被害を最小限にとどめることを目的に結成された組織です。

●自主防災とは・・・

災害予防および災害時の応急対策を地域住民が主体となって行うことです。「自分たちの地域は自分たちで守る」という考えのもと、自発的に初期消火・救出・救護・集団避難などの防災活動に取り組みます。

●自助共助とは・・・

自助とは、自分自身の安全を守ること

共助とは、地域やコミュニティの周囲の人達が協力して助け合うことです

「自分の命は自分で守る、その助かった命で他の人を守る」

これが自助共助の基本的な考えです。

●地域の集合場所までの意味・・・

地域の集合場所に行ける＝生きていることの確認につながります。

上記の内容は年度初めの自主防災会総会の資料の抜粋になります。

市原野学区は、南北に長く東西には多くの谷があり住宅が密集しています。

地域的にも大きな学区であり災害が発生した場合には甚大な被害が生じる可能性があります。災害時には迅速な対応が求められ、対応が遅れば人的被害につながるおそれもあります。

今年度の訓練では、今一度初心に立ち返り「地域の集合場所に向かう」ことを主眼に実施しました。安否確認や情報交換などを通じて、「地域住民が連携し協力する力」を身につけていくことを目指しています。

12月7日(日)に今年度初めて京都精華大学様と市原野小学校の2か所において避難所開設訓練を行い、各町内会から合計308名の参加がありました。


市原野消防分団の皆さまのご指導のもと、ダンボールベットの組み立てやパーティションの設置、新聞紙スリッパ作りなど、避難してきた方々が自分たちでできるように取り組みました。

さらに市原野小学校では左京区社会福祉協議会とともに「防災支え合いはじめての一步訓練」を実施しました。障がいのある方の防災訓練の参加を促し、災害時においても互いに支え合いが実行できるように取り組んだものです。




市原野学区自主防災会は皆さまのご理解とご協力のもと、少しずつではありますが歩みを止めることなく前へ進んでまいります。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

市原野学区自主防災会 会長 石濱 巧



市原野学区自主防災会


LINE公式アカウント



◎友だち登録の方法

方法① : [LINE]>▲[ホーム]> 👤+[友だち追加]> [QRコード]より
右のQRコードを読み取って登録します。

方法② : スマホの[カメラ]機能より右のQRコードを読み取って登録します。



● 環境委員会

●市原野ごみ一掃クリーン作戦 7月6日(日)

昨年と同様、暑さを避け、各町内に熱中症対策を徹底してもらいながら、今年も7月に行いました。参加者は、722名で昨年より少し少なかったです。



今年も集積場は一か所で、篠坂町共同墓地駐車場には草や木の枝がたくさん集められました。今年は、ほとんどが草や枝で、どこの町内も夏を前に草刈りをされたようです。

各町内のみなさん、運ぶのに車を出してくださった方、ご協力ありがとうございました。

●左京エコまち出張所 7月21日(月・祝)

左京エコまちステーションは、毎年三回、静市第三公園と二軒茶屋公園の二か所で移动式拠点回収を実施していますが、今年は、初めての試みで「左京エコまち出張所」を実施しました。

移動式拠点回収とどこが違うかということですが、資源物回収（乾電池、蛍光灯、小型家電など）は同じですが、ごみについての相談の受付があったことです。それと、出しにくい平日ではなく、祝日であったことです。

乾電池 50kg 蛍光灯 30本 一升瓶 20本 ライター 5kg

小型家電 50kg 衣類 20kg 陶磁器 10kg が集まりました。

また、大型ごみやリチウム電池などに関する相談がありました。

他に、有害・危険ごみ（石油類、農薬、塗料など）の回収が、移動式拠点回収と合わせて10月13日にありました。今年度は、まだ2026年2月9日(月)に移動式拠点回収がありますので、ご利用ください。



今年度も、大人服・子ども服・未使用の陶磁器製の食器を回収します。

今年度も、2026年3月1日に左京区役所で、再利用を目的とした「左京ふれあい eco フェスタ 2026」が開催されます。再利用を目的とした「リユース市」では、希望者に無料で持ち帰ってもらいます。市原野でも回収しますので、ご協力をお願いします。

回収日時 2026年1月11日(日)、12日(月・祝) 13:00~15:00

回収場所 市原野会館

大人服・子供服

- ・下着や靴下、着られないほど汚れたり、破れている服は回収しません。

未使用の陶磁器製の食器

- ・ガラス製、プラスチック製、木製の食器及び土鍋は回収しません。
- ・割れたり、欠けているものは回収しません。

タンヌや押し入れに眠っているものを有効利用したいと思います。昨年、出し忘れた人、出せなかった人、ぜひ今回の回収にご協力をお願いします。ごみにするには、もったいないです。また、「左京ふれあい eco フェスタ」にお越しただいて、いいものがあればお持ち帰りいただきますと有効利用になり有難いです。

今回は、12日(月・祝)に、左京エコまちステーションによる充電式電池（特にごみ収集車やごみ処理施設での火災の原因になっているリチウムイオン電池）や小型家電（30cm×40cm×40cm以下のもの）を回収が実施されます。ぜひご利用ください。

お問い合わせは、左京エコまちステーション(Tel 075-366-0821) まで

●砕石工場、生コン工場の立ち入り調査 11月18日(火)

工場の安全操業等について砕石工場、生コン工場の立ち入り調査を実施しました。対象の事業者は、砕石工場：(株)太田建設、近畿砕石(株)、生コン工場：宝ヶ池建材(株)、洛北レミコン(株)の4社で、毎年1回の立ち入り調査を環境委員会と自治連合会本部で行っています。(以前は市原野小学校PTAや交通安全会も一緒に調査に参加していました。)

市原野自治連合会は、砕石・生コン工場4社(本会の特別会員)との間で、大気汚染(粉塵の放出)、水質汚濁(ミキサー車等の洗いの排水の排出処理)、騒音規制、交通安全(鞍馬街道のダンプ・ミキサー車の安全走行、児童の通学時間帯の走行の自粛)、工場の安全操業等についての協定を結んでいます。

今年の立ち入り調査では、粉塵の発生や著しい騒音は見られず、ミキサー車の洗い水なども排水処理施設で処理されていて鞍馬川への汚水の排出はありませんでした。4社とも安全・安心に操業されていることを確認しました。

引き続き市原野小学校の登校時間8時から8時30分はダンプやミキサー車は鞍馬街道を通行しないよう徹底してほしいと申し入れました。



● 道路委員会

● 中在地町自治会のからのカーブミラーの設置の要望

中在地町自治会北村会長から T 字路で、角地に新築の家が建ち、新しい外壁のため普通の一時停止では全く左右の確認ができないのでカーブミラーの設置を自治会から区の管轄部署に要望したが、担当者からは、そこは隅切りがあるので問題ないとの回答で断られた。しかし、非常に危険なので何とかならないかとの要望があり、自治連として再度現場の立ち合い確認等の依頼を行い、設置して頂くことができました。



● 獣害対策委員会

● ツキノワグマ出没防止に係る講習会&地域の環境点検を開催

昨年は秋から毎日のようにクマの被害が報道され、全国的にクマが人の生活圏に出没し、人身被害も発生しました。

京都市においても新事業として、クマの習性に関する講習会と地域の環境点検を市原野自治連合会と連携して開催することになり、京都市農林振興室主催で「ツキノワグマ出没防止に係る講習会&地域の環境点検」を以下の通り3地域で開催しました。



○第1回 10月30日(木) 市原野会館で講習会后、サンタウン、クリーンセンター遊歩道周辺を環境点検

○第2回 11月20日(木) 野中児童公園集合 グリーンタウン辺の環境点検

○第3回 12月4日(木) 二軒茶屋団地集会場集合 洛北台周辺の環境点検

今回の研修会では野生鳥獣の専門家によるクマの生態や対策・点検方法などを学習し、その後、専門家の指導のもと、実際に地域を歩きながら現場を確認しました。

各種団体の近況と活動予定

● 市原野体育振興会

● 市原野体育振興会の事業

5月18日に川島織物セルコングランドをお借りして、区民グランドゴルフ大会を実施しました。参加者は、32名だったので前半と後半の二組に分かれ、選手は時間差で集合していただき、2ラウンド続けてプレーし、終われば帰宅してもらいました。前半のグループは藤田春雄さん、後半のグループは和田辰雄さんが優勝されました。

昨年2月に開催しました区民卓球大会は、冬の小学校体育館で大変寒かったので、6月29日に実施しました。今年は、男女、経験ありなし関係なく、トーナメント方式で試合を行いました。みごと優勝されたのは、田淵政子さんでした。

区民ボーリング大会は、8月2日にエアコンの効いたMKボウル上賀茂で実施しました。男性の部は山脇修さん、女性の部は廣山柚衣さん、子供の部は高木遥さんが優勝されました。

今年度、初めての試みとして、ヨガ教室を9月20日に小学校の体育館をお借りして、実施しました。ヨガマットを床に敷き、音楽の流れる中で、ゆっくりと体を動かすこと1時間半、何か体がすっきり、軽くなったような気がしました。これを機会に、始めてみませんか。ヨガには、からだの調子を整える、血行不良・肩こり・腰痛などさまざまなからだの悩みを改善する、そしてリラックス効果があるようです。講師としてお世話になりました市原野在住の原 佳代様ありがとうございました。

今年も、たくさんの広告賛助金、個人賛助金をいただき、大運動会を川島織物セルコングランドで、10月12日に盛大に開催することができました。



水運びリレー



4周リレー



フォークダンス

競技の方では、やはりトラック競技の4周リレーは、走っている人も応援している人も、力が入りますし、迫力がありました。今年度の新しい競技としては、市原野小学校創立150周年を記念して、150秒水運びリレーをプログラムに入れました。水運びリレーは、何年ぶりの復活でしょうか。地区対抗で、みごと総合優勝されたのは、東篠坂チームでした。無事終わりましたのは、運動会にかかわって下さった市原野のみなさんのおかげです。ありがとうございました。

区民運動会によって、町内が、そして地域全体が一つになり災害に強い市原野になることに体振は協力しています。また、昼休みに市原野小学校創立 150 周年実行委員会さんが、記念事業をアピールしました。全員参加のフォークダンスはたいへん盛り上がりました。

11 月 30 日に開催しましたウォーキング大会は、叡山電車の木野駅を出発し、旧道を通り、岩倉川沿いを上がり実相院までを歩く、1.7km のコースでした。今回は、55 人もの参加者があり、体振の役員は熊鈴を付けて、紅葉や色づいた柿を見ながら、全員無事、実相院に着きました。実相院では、黒く磨かれた床板に紅葉が映る「床もみじ」や庭が美しく、少し見ごろを過ぎていましたが、自由に拝観していただいて解散としました。ご高齢の参加の方から今回ぐらいの距離なら参加しやすく良かったというようなご意見も頂きました。



●左京体振の事業

6 月 15 日に修学院中学校で行われた、左京区民バレーボール祭女子の部では、2 勝して優秀チームになりました。7 月 6 日に宝ヶ池左京体育館で行われた左京区民ソフトバレーボール祭でも、2 勝して優秀チームになりました。11 月 23 日、岩倉東グラウンドで行われた左京区民グラウンドゴルフ大会では、市原野 A チームが、5 位に入賞しました。

今年は、11 月 16 日に西京極総合運動公園で市民スポーツフェスティバルが行われました。市原野は、ソフトバレーとグラウンドゴルフとモルックに出場しました。ソフトバレーでは、2 勝して今年も優秀チームになりました。



●その他

地域のいろいろな行事に積極的に協力しています。たとえば 7 月 19 日に行われた児童館夏祭りでは、昨年と同じく祭りのやぐらを組み立て、協力しました。また 11 月 15 日に行われました市原野小学校創立 150 周年記念式典の後の実行委員会主催の記念フェスタでは、テント 7 張りをお貸して会場作りで協力しました。会場は、たくさんの参加者にぎわい、地域が一つになった事業となりました。



市原野体育振興会 副会長 新谷 久芳

●市原野すこやかクラブ

新年明けましておめでとうございます

皆様には日頃から当会の活動にご理解とご支援を戴き誠に感謝する次第です。



新年も教室、クラブ、活動を通じて会員の皆様のより良い交流の場作りを続けて行きたいと思えます。(続けること、続けられる、が大事を基本に)

終わりに、市原野自治連合会様には、活動など多くの支援を頂き改めて感謝申し上げます。



市原野すこやかクラブ 会長 福本 隆治

● 市原野北シルバークラブ

新年おめでとうございます

先ずは、市原野北シルバークラブの運営に携わっていただいています 20 名の役員さんにも、お忙しいにも関わらず当クラブを支えて下さる為、多大なる尽力を賜り誠に有り難く心より感謝申し上げます。

お陰様で会員の皆様におかれましては、多彩なる各種のサークル活動や数多くの催し物に積極的にご参加いただき交流の輪を広げ、お元気にお過ごしでいらしゃることと思います。そして新年も、連日に亘り各々のペースで楽しさを満喫されますことを願っております。

そこで会員以外の皆様にも当クラブの活動内容をご理解いただければとの思いを込めまして、7つのサークルと2つの(体育振興会の)同好会を1週間の表にてご紹介致します。



令和7年4月 北シルバークラブ 総会

日・祝	グランドゴルフ		9:30~12:00	清掃工場 運動場
月	絵手紙	第1・第3	13:30~15:00	静市出張所 2階
	習字	第2・第4	9:30~11:30	静市出張所 2階
火	グランドゴルフ		9:30~12:00	清掃工場 運動場
水	体操		13:30~15:00	静市出張所 2階
木	ペタンク		9:30~11:00	市原野会館 グランド
金	ちぎり絵	第3	10:00~12:00	静市出張所 2階
	囲碁 将棋 麻雀	第1・第3	11:00~16:00	市原野会館 交流室
土	男の料理教室	隔月/第3	10:00~13:00	市原野会館 創作室
	カラオケ	第4	13:00~16:00	精華大学前「虹」

更に、秋の『文化の集い』は、大きなホールのステージにてカラオケなど、又、年度末の左京区及び京都市全体の各『作品展』は皆様の力作を展示・発表する素晴らしい機会です。



《男の料理教室》
楽しく作り
美味しく食べ
笑ってます



《健康体操》
楽しい
転倒予防体操です

そして、組織率の件なのですが、京都市総合企画局の令和7年4月のデータによりますと市原町と野中町の人口は4,675人 65歳以上の人口は1,539人で『33.0%』になります。

この数字には市原野以外より各グループホームに住所を移しておられる方も若干名含まれます。又、当クラブ会員の要件は概ね60歳以上ですが、役所では65歳を基準とした人口しか把握されてませんので、実際の比率はもう少し高くなります。

市原野北シルバークラブと市原野すこやかクラブとの合計会員数は193人で『12.5%』上記の理由で会員数の比率はもう少し低くなります。

このように現状は、如何に未加入の方が多いかお分かりになると思います。

会員か非会員であるかに拘わらず、皆様どうぞお気軽に各クラブの活動日に“ぷらっと”その場の雰囲気をご覧ください。

市原野北シルバークラブ 会長 美野輪 三郎

● 市原野消防分団

新年あけましておめでとうございます



市原野小学校 150 周年
警備

市原野学区の皆様におかれましては、希望に満ちた新春をお迎えることとお慶び申し上げます。

平素は、市原野地域の防火防災にご協力頂き有難うございます、また日々の消防団活動に対しまして、深いご理解と温かいご支援を賜り重ねて心より感謝申し上げます。

私たち消防団にとって「地域とのつながり」は、災害時の「命綱」です。

日頃の広報活動やイベントの警備で顔の見える関係を築き、信頼と連携の基盤を作ります。

この絆こそが迅速な情報共有と行動を可能にし、「自分たちのまちは自分たちで守る」という地域防災力を高めます。

女性団員も加わり、総員 24 名でさらに多様な視点で地域と関わる体制が整いました。

今後も地域に寄り添い、つながりを大切に活動を続けてまいります。



年末警戒 団長激励巡視

左京消防団 市原野分団 分団長 矢守忠弘

● 下鴨少年補導市原野支部

新年明けましておめでとうございます

コロナ禍から魚つかみ大会や夜間パトロール活動が出来ていない時期が続き、早 6 年になりました。

令和 8 年度は、他の各種団体様のご協力のもと、何か大人と子供が触れ合えるような取り組みが出来るよう尽力してまいります。

”さしのべる 手のぬくもりを どの子にも”という少年補導のスローガンのもと子供の健全育成に取り組んでいきたいと思ひます。



下鴨少年補導市原野支部 支部長 濱田つや子

● 市原野女性会

市原野女性会・活動とご報告 2025.10.26

市原野女性会の役員任期は2年間と定められています。(会則)

2年毎に会長以下本部役員である副会長、書記2名、会計、幹事、会計監査を本部7役と呼び、総辞職して新役員を選挙で選びます。

私は2024年から2年間女性会・会長職を賜って今に至ります。

どこの他団体さんの総会に出席しても高齢化を嘆かれますが女性会も例に漏れる事無く、現状は老人会其の物と成っています。

私は会長に就任後、旧慣例・旧行事を含め反発勢力?にも恐れることなく実行するという精神の元、任期の2年を過ごしてきました。自分というものを理解して貫うには話し合いをして深く相手を知る事も大切です。

分かりませんが今の女性会は会長の名の元しっかり団結してきていると自負しています。

しかしながら若い後継者の発掘は至難の業だと痛感しています。やはり国会を見ていて解るように社会で働いている現役年齢の議員が何人いるかが問題、ご隠居さんが日本を動かせますか?体力・知力・活力のある女性会にするのはそこが問題です。

朗報です、昨年40歳代と20歳代の元気な会員さんの入会が有りました。この方たちの女性会の活動を2026年は期待しています。私の任期中は他団体さんを巻き込んだ大きなアピール性のある催しを開催し、女性会の活動を地域の方々に認知して頂くことをモットーといたしました。月1回の定例役員会というまでもなく他団体さんも巻き込んだ大きなイベントを開催してきました。



★これまでに開催した大きなイベントを下記に紹介いたします。

2024年

- 6月 親睦会(他団体の皆さんも参加)
- 7月 コンサート(100名以上参加)
- 9月 敬老のつどい
- 10月 模擬店(200名以上が利用)
- 11月 ふれあいまつり

2025年

- 1月 新年会
- 4月 総会 (2024年度)
- 6月 日帰り旅 (他団体さん参加)
- 7月 バザー (他団体さんも参加)
- 9月 万博見学 (他団体さんも参加)
- 10月 模擬店 (200名以上が利用)

今後任期まで 現役世代のお母さんたちの会員獲得を目指して努力します。

市原野女性会 会長 増田こいし

● 市原野交通安全会

新年明けましておめでとうございます

日頃は交通安全にご協力頂き有難うございます。昨年も大きな事故もなく、これも皆様の日頃からの交通安全へのご理解ご協力を頂いている結果だと思えます。

昨年の活動としては年4回の交通安全運動期間中に安全旗設置を行い、学区内3カ所で静市交番の末松さんと共にグッズ等を配布し啓発活動を実施しました。また、小学校の自転車教室のお手伝い、児童館イベント、ハモハ踊り、区民運動会の交通整理を行いました。横断旗も古いものは新しいものに交換し、皆様に利用して頂けるようにしました。



2026年4月からは、自転車の軽微な交通違反（例：信号無視、ながらスマホなど）に自動車やバイクと同様「青切符」が交付され、反則金が科されるようになりました。交通ルールを意識し、安全運転を心がけましょう。

また、自転車用ヘルメットを着用していない場合、自転車事故の致死率が約1.9倍に増加するとされています。家族みんなの安全のために着用を習慣づけましょう。



- 自転車のヘルメット着用・夜間ライト点灯と交通ルール遵守の徹底
- 運転中の携帯電話の使用禁止
- こどもと高齢者をはじめとする歩行者の安全確保
- 夕暮れ時と夜間の交通事故防止及び飲酒運転等の根絶
- 夜間の外出には反射板を身に着けるなど、目立つ工夫を

市原野交通安全会 会長 尾崎孝生

● 市原野保健協議会

新年のお慶びを申し上げます

市原野学区の皆様には保健協議会の取り組みに積極的に参加していただいていること、御礼申し上げます。昭和28年に地域住民の健康の保持増進や地域の環境保全と環境整備に寄与することを目的に自主的な組織として設立され今日を迎えております。



市原野では、市民の健康診断の案内やお盆のお供物の回収に協力しております。近年増加のがん検診などの回覧なども行っております。

「地域の健康や暮らしを自分たちで守る。」そんな一年になるように願っております。

市原野保健協議会 会長 石神恭子

● 市原野小学校PTA

令和7年度市原野小学校PTAのスローガンは、「Kindness（親切）Imagination（想像力）Smile（笑顔）～考えて思いやり いつもみんなが素敵な笑顔～」をテーマに活動してまいりました。

毎月5のつく日の「あいさつ運動」をはじめ、今年度は「市原野小学校150周年記念」をお祝いするための活動がメインとなりました。市原野小学校150周年実行委員会への参画をはじめ、記念式典や記念フェスタへ参加する事で、市原野地域皆様の子育てに対する思いの強さを感じた事はもちろん、市原野の地域力の高さを実感せずにはられませんでした。



今後の市原野小学校PTAの課題としては、現代の保護者としての在り方を優先しつつも、いかに地域と繋がる時間を確保出来るかであると思っています。

そして日頃より、子供たちの安心と安全を見守ってくださる地域の皆様、登校時の見守りボランティアの皆様、心より御礼を申し上げます。令和8年もどうぞよろしく願いいたします。

市原野小学校PTA会長 川端 みゆき

● 下鴨防犯協会推進委員協議会市原野支部

明けましておめでとうございます

昨年4月に自治連合会に新たに加盟させていただきました。よろしくお願いいたします。さて、防犯推進委員を少し紹介させていただきます。

防犯推進委員は、支部長の推薦により下鴨警察署長及び下鴨防犯協会会長が委嘱し、任期は2年で再任は妨げないとなっています。

下鴨警察署管轄区域内の学区を単位として支部を置き、支部長をもって構成された防犯推進委員協議会で運営されております。



協議会は、防犯推進委員相互の連携を密にして、防犯思想の普及・啓発並びに地域安全活動を推進することを目的としています。

私たち市原野の構成は、支部長他7名で適時に防犯広報等活動を実施しております。

これからも、静市交番の指導・助言を受け、駐在所とともに市原野地域住民の安心・安全な街づくりに微力ながら活動してまいります。

下鴨防犯協会推進委員協議会市原野支部 支部長 梅原 武

● 静市民生児童委員会市原野及び市原野老人福祉員

「近助」 支え合い、笑顔あふれて、地域の絆

核家族化、少子高齢化等により地域の間人関係が希薄化しているといった報道を耳にします。「他人事」と思っていた事案が「自分事」に感じるようになりました。民生委員として、地域社会の理念でもある「赤ちゃんからご高齢の方まで住みよい街づくり」を目指して活動されている自治連合会の皆様や各種団体の皆様との交流・協力を大切に「誰もが住みやすい市原野」を目指し、役割である地域の皆様の「身近な相談相手」としてこれからも行政や専門機関への「つなぎ役」に頑張りたいと思っています。

民生委員児童委員、老人福祉員は市原野と静原が同学区であり左京区の「静市学区」として活動しています。

令和7年は3年に一度の改選期で、老人福祉員4名（4月）、民生委員児童委員9名（12月）に改選委嘱式がありました。

静市民生委員児童委員協議会 会長 服部 正

<市原野学区の民生委員児童委員・主任児童委員、老人福祉員は以下のとおりです。>

委 員	氏 名	電話番号	担 当 地 区
民生児童委員 (厚生労働大臣から委嘱・守秘義務あり) 母子・児童・障害を担当	やまもと たけお 山本 健夫	741-2326	野中町、市原町（北）
	つかだ よしこ 塚田 よし子	741-2444	市原町（中）
	しらた みか 白田 美佳	741-2884	市原町（篠坂）
	にしお ひろこ 西尾 裕子	722-6310	市原町（二軒茶屋）
	ほっとり ただし 服部 正	721-1462	市原町（南）
主任児童委員 (厚生労働大臣から委嘱・守秘義務あり) 児童を担当	いしはま あきこ 石濱 明子	741-2694	市原野学区全域
	ふくだ かずみ 福田 和美	741-2425	
老人福祉員 (京都市長から委嘱) 地域の一人暮らしの高齢者を訪問、見守り	なかもつ のぶこ 中松 靖子	741-9084	野中町、市原町（北）
	まつもと じゅんこ 松本 淳子	741-1616	市原町（中）（篠坂）
	おかだ きょうこ 岡田 京子	200-4338	市原町（二軒茶屋）（南）



● 市原野社会福祉協議会

社会福祉協議会の活動は、人と人とのつながりを広げ、誰もが安心して共生できる地域福祉を推進することを基本理念としています。

令和7年度の市原野社会福祉協議会、重点目標は

—地域のつながり・絆づくり—
「近助」・「ともに助け合い、支え合える地域づくり」

この重点目標を掲げ活動しています。

高齢の方、障がいをお持ちの方、子育て真っ最中の方々など、地域住民みんながあいさつを交わし、話をする。困った事があればお互い様と助け合う、そんな街になればと頑張っています。

コロナ禍による自粛のため、活動を休止していた健康すこやか学級(ミニミニデイ)も令和6年度より再開しており、地域のみなさまの交流の場となっています。



市原野社会福祉協議会 事務局長 政岡 伊久美

今年度の活動について紹介します。

今年度ミニミニデイは落語会、マジックショー、法話と歌う会を開催してきました。



地域の方のマジックの様子

メイン企画の他に体操やお茶の時間もあります。楽しく過ごすひときは、フレイル(加齢により筋力や心身の活力が低下した状態)予防にもなります。何より皆様の「今日もとても楽しかったよ。」の言葉にボランティアは元気を頂いています。新規の方、随時受け付け中です。一緒に楽しい時間を過ごしませんか。



ミニミニデイ担当 松本 淳子

● 市原野児童館

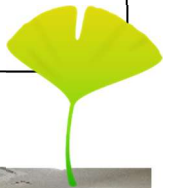
明けましておめでとうございます。旧年中は地域の皆様から本当に多くのご支援をいただきました。改めてありがとうございます

市原野児童館は、平成15年（2003年）2月に設置されました。0～18歳未満の子どもを対象とし、さまざまな遊びの活動を通じて、子どもたちの健全育成・子育て家庭支援・地域交流を行う施設です。2026年も多くの子どもたち、保護者、地域の方々に喜んでもらえるよう、より楽しい児童館を目指してまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。

◆市原野児童館夏まつりの様子（R7年7月19日開催）



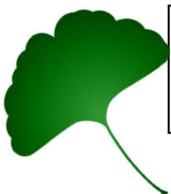
やぐらを囲んで盆踊り！楽しい模擬店も大人気でした！（^▽^）地域団体さんの協力をいただき、事前準備、当日運営、片付けまで、たいへんお世話になりました。ボランティア59名を含む383名の参加となりました。市原野の子どもたちと大人たちの元気な笑顔があふれた一日でした！



◆市原野小学校150周年フェスタの様子（R7年11月15日開催）



市原野小学校150周年フェスタに、児童館も射的などの遊びコーナーの運営と、学童クラブの子どもたちのダンス発表で参加させていただきました。



市原野児童館 館長 笠間次郎

● 市原野地域子育てネットワーク会議

市原野地域子育て支援ネットワーク会議は、“見守ろう、ささえよう 地域の子どもと子育て家庭”をスローガンに、地域の各種団体を構成員として平成18年に発足しました。

令和7年度の主な活動としましては、子どもを取り巻く状況等の情報交換、市原野小学校150周年記念フェスタでのシンポジウムへの参加、また3月には3年目となる「ほっこりひろば」の開催を予定しています。

今後とも地域の皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。更に、子育てに関する悩みや不安がございましたら、近くの運営委員や事務局まで気軽にご相談ください。

◆ R6年度「ほっこりひろば」の様子（R7年3月8日開催）



「ほっこりひろば」は市原野小学校を会場として、各種団体があそびを持ち寄り、交流を深めようというイベントです。体育館では、小学校PTAさんがストラックアウト、体振さんがボッチャ、学習センターでは女性会、社協、民生の皆さんで折り紙工作や交換バザーを開きました。118名の参加があり、寒い中でも笑い声の絶えない時間となりました。(=ω=)!

市原野地域子育て支援ネットワーク会議 事務局 市原野児童館 笠間次郎



「市原野会館」使用規定

2025年（令和7年）6月7日改定

■使用できる部屋と使用できる時間帯

	部屋	人数	設備など
1	交流室	40～50名	調理室として使用可
2	創作室	12～15名	
	給湯室		

※各部屋は冷暖房完備・長机、イス付き

区分	時間	備考
午前の部	9時から12時まで	
午後の部	13時から17時まで	
夜間の部	18時から22時まで	

※午前・午後と連続で使用される場合は「2区分」となります。

※給湯室は、ガスレンジ・電子レンジ・冷蔵庫・電気炊飯器・ポットなど使用できます。（無料）

■使用の手続き

- ご利用希望の方は市原野会館玄関前にあります「使用申込書」に必要事項を記入して備え付けの受付箱にお入れ下さい。併せて、申し込みが重複しないよう掲示板「使用月間一覧表」の申込日・使用部屋・時間帯に「団体名・サークル名」を記入してください。
- キャンセルの場合は、すみやかに掲示板の申込みを消去し届け出てください。
- 使用申込書の受付は2ヵ月前から行います。

■使用の規制 次に挙げるものはご遠慮下さい。

- 飲食・飲酒を主とする会合(宴会等)
- 日常的または恒例的に行う政治(ただし報告会は除く)および宗教活動
- 物品販売など営利を目的とするもの
- 主として市原野学区以外の方の会合

■使用料

市原野自治連合会・自治連合会所属の単位自治会および各種団体による会合は「無料」です。

※ただし、上記以外の文化サークル・趣味の会等による会合は、実費として1部屋・1区分1,000円頂きます。

※会館使用料については会館を使用後速やかに、指定の金融機関口座に払い込み下さい。

「市原野会館使用料」	使用料	1部屋・1区分	1,000円
【入金口座】	京都中央農協	岩倉支店	(番号 6956-014)
	イチハラノジ	チレンゴウカイ	
口座名	市原野自治連合会	普通口座	0006619

■鍵の受け渡し

受け渡しは会館の玄関鍵はキーボックスで管理します。暗証番号を合わせて取り出してください。

<注意事項>

玄関の鍵は紛失を避けるため、開閉時のみキーボックスから取り出し、速やかにキーボックスに片付けてください。絶対に持ち歩かないようにしてください。

■駐車場

- 夜間 ……市原野会館裏のグラウンドをご利用下さい。
- 昼間 ……グラウンド使用できません。 ※ 消防分団の器具庫前、配布ロッカー前は駐車禁止

■市原野会館は皆さまの施設です

※ 備品は大切に使用しましょう。部屋の扉は施錠しませんが、戸締りや備品の管理等は使用者が責任をもってお願いします。また、皆さんに気持ち良く使って頂くために使用した部屋は掃除機を掛け、廊下・台所・トイレは掃除して帰りましょう。

【自治連のねがい】

- 子ども・高齢者・みんなにとって安全な街づくり
- 自然ゆたかな住みよい環境をまもる
- 子どもと高齢者との異世代間交流を通じ、ふれあいの街づくりと地域の伝統文化を守り育てる



入みましょう 自治会・町内会に

市原野自治連ニュース 2026.1.1 新年号

2026年（令和8年）1月1日発行

発行元：市原野自治連合会 広報委員会

〒601-1123 京都市左京区静市市原町254-2 市原野会館内

発行責任者：広報委員長 今江 清朝

市原野自治連合会Webサイト (ホームページ)

を公開しました！



<https://ichiharano.org>

QRコードをスマホのカメラで映すとサイトを開くリンクが現れますので押してください。(機種によって多少変わります)

サイトが開いた状態で、「ホーム画面に追加」という操作をしていただくと、スマホの画面にアイコンを置くことができ、そこからすぐにサイトを開けるようになります！

Androidスマホの場合



iPhoneの場合



※スマホの機種やバージョンによってやり方が変わる場合があります。

市原野自治連合会では、これまで「いちのいち」(自治会向けSNS)を使って地域住民の方への情報発信を行ってきました。

しかし、この春からのシステム使用の有料化、また、システム変更による登録の難しさなどの理由で、今後はこのWebサイトから情報をお伝えすることにします。

当初はその時々での情報発信が主になりますが、サイトの内容は随時拡充していく予定です。

また、通常のサイトですので、「いちのいち」のように記事投稿時の通知を出すことは今のところできません。見る人がサイトを開いてチェックする必要があります。

通知の機能は今後追加できないか検討してまいります。

サイトの制作、管理につきましては自治連本部の有志によっていますので、維持コストは最低限(レンタルサーバー代、ドメイン代)で済む見込みです。

反面、手作りによる不具合や不手際が起こる可能性もありますが、しっかりした運営を目指します。